

第4学年 授業改善推進プラン

	児童の実態から見える 指導方法の課題 (重点項目)	具体的な授業改善策	○成果と▲課題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の言葉で考えたことや思ったことを文章に書く指導を充実させる。 ○児童が互いの考えの相違点や共通点を考えながら話し合う時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや書く内容を明確にさせ、文章の構成を考えながら作文づくりを行うようにする。 ・児童同士でお互いの文章のよいところを価値付けできるように見合う時間を取り入れる。 ・話し合いの進め方や司会の役割を明確にして、グループや学級全体で話し合うなどの言語活動の機会を増やす。 	
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の様子や絵地図に示された情報を読み取り、その特色を考察する力をつける。そのために、資料を活用してまとめる技能を身に付けていくようにする必要がある。 ○主体的に、社会的事象について解決する力や判断する力を伸ばしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちの東京都や地図帳などの資料の活用を多くし、地域の特色を理解させる。また、学習問題を立てたり、必要な情報を読み取ったりして、課題を解決する時間を取り入れていく。 ○学習問題を追究・解決するために、調べ学習を多く取り入れ、調べたことや考えたことを自分の言葉で表現、発表する機会を多くもつ。 	
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本的な内容の定着を図り、学習内容の理解を深める。 ○要素や数の関係に着目して問題を捉え、整理することができるようにする。 ○見通しをもち、問題解決の方法を筋道立てて説明できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の習熟度に応じて具体物を操作したり、言葉や式、図などを用いたりして学習内容の定着を図る。また、各クラスで連携を取りながら習熟度別学習を実践する。 ・具体物や図、言葉の式を活用して問題を整理させる。児童が問題の要素を捉え、見通しをもって問題に取り組めるようにする。 ・既習内容を確認したり、算数的活動や具体物を用いた活動を増やしたりする。学習の見通しをもち児童が主体的に問題に取り組めるような授業展開を行う。 	
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の事物・現象の変化に着目し、変化とそれにかかわる要因とを関係付けながら調べるようにする。 ○科学的な見方や考え方を育成するため、観察・実験や自然体験、科学的な体験を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事象・現象の変化や違いを明確に示せるよう課題提示を工夫し、児童が自ら課題を見つけ、興味、関心をもって課題を追究していくようにする。 ・動植物の観察や児童一人一人が実験に参加できるように、自然体験、科学的な体験活動を多く取り入れる。 	

<p>体 育</p>	<p>○それぞれの運動領域で、基本的な動きや技能を身に付ける必要がある。</p> <p>○児童同士が運動を見合い、励まし合ったり気付いたことを発表したりする場面を取り入れる。</p> <p>○自己の運動の課題を明確にし、課題解決のための方法や活動を工夫できるようにする。</p>	<p>・準備運動に主運動につながる動きを取り入れる。また、基本的な動きを段階的に示し、児童が自分の能力に応じて徐々に動きを身に付けられるようにする。</p> <p>・振り返りやチームタイム等の時間を活用して児童同士の関わり合いを増やし、動きのよさを見つけて共有したり、友達との関わり合いで学んだことを発表したりする。</p> <p>・学習のめあてを明確にし、児童が自分なりの課題を見つけて授業に取り組めるようにする。また、学習の振り返りではワークシート等を活用して、児童が成果と課題を実感できるようにする。</p>	
<p>総 合</p>	<p>○児童の興味・関心に基づく探究課題を取り上げ、他者と互いに考えや意見を出し合い、問題の解決ができるようにする。</p> <p>○自ら課題を見付け、よりよく課題を解決する力を伸ばせるようにする。</p>	<p>・探究的な学習に取り組むために、話し合い活動を多く取り入れ、課題解決的学習や体験的学習を進めていく。</p> <p>・自ら課題を設定し、必要な情報を適切に活用しまとめたり、学びの成果や過程を振り返ったりする活動を計画的に立てさせ取り組ませる。</p>	
<p>道 徳</p>	<p>○登場人物の心情を自分との関わりにおいて多面的多角的に考え、道徳的価値に迫れるようにする。</p> <p>○多様な視点から話し合い、考え、議論する道徳の充実を図り、自己のよりよい生き方を考えさせていくようにする。</p>	<p>・道徳的価値を自分との関わりで考えることができるような問題解決的な学習を取り入れていく。</p> <p>・効果的に話し合いが行われるようペアでの対話やグループによる話し合いを取り入れ、一人一人の考え方や感じ方を大切に授業の展開を工夫する。</p>	
<p>外 国 語</p>	<p>○外国語に慣れ親しむ機会を多くし、外国語を用いたコミュニケーション能力を育てる。</p> <p>○外国の言語や文化について体験的に理解を深めることができるようにする。</p>	<p>・外国語の音声や基本的な表現を聞いたり、話したりして、互いに自分の考えや気持ちを伝え合う活動を取り入れる。</p> <p>・日本と外国の生活や行事、習慣などの違いを知り、体験を通して、多様なものの見方や考え方があることに気付かせるようにする。</p>	